



## 2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 伊勢化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4107 URL <http://www.isechem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 湊 崇静

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 小林 正昭

TEL 03-3242-0520

四半期報告書提出予定日 2019年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	12,652	16.0	1,606	62.6	1,582	60.6	1,022	348.1
2018年12月期第3四半期	10,909	5.2	987	616.2	984	571.6	228	

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 968百万円 (326.1%) 2018年12月期第3四半期 227百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	200.55	
2018年12月期第3四半期	44.75	

当社は、2018年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	29,810	24,585	82.5
2018年12月期	29,156	23,949	82.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 24,585百万円 2018年12月期 23,949百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		6.00		30.00	
2019年12月期		35.00			
2019年12月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年7月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年12月期の1株当たり期末配当金については、株式併合後の株式に対しての配当金であります。なお、年間配当金合計は、「-」として記載しています。

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	7.6	1,950	23.4	1,900	20.9	1,150	98.8	225.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	5,135,135 株	2018年12月期	5,135,135 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2019年12月期3Q	35,286 株	2018年12月期	34,726 株
-------------	----------	-----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期3Q	5,100,135 株	2018年12月期3Q	5,101,060 株
-------------	-------------	-------------	-------------

当社は、2018年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、2019年7月25日に公表いたしました、「2019年12月期 第2四半期決算短信」に記載の2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年1月1日～2019年9月30日）における当社グループをとり巻く環境は、国内では輸出や生産に弱さがみられるものの緩やかな景気回復基調が続いておりますが、世界経済は米中間を始めとした貿易摩擦の影響等による減速の動きが鮮明となっており、今後も更なる貿易摩擦や英国のEU離脱等の影響が懸念される状況となっております。

このような状況におきまして、当社グループは、積極的な国内外の販売活動を実施し、生産性の向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比17億4千2百万円（16.0%）増の126億5千2百万円、損益面では、営業利益は前年同期比6億1千8百万円（62.6%）増の16億6百万円となりました。また、経常利益は前年同期比5億9千7百万円（60.6%）増の15億8千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比7億9千4百万円（348.1%）増の10億2千2百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、ヨウ素製品の販売数量が堅調に推移したことに加え、ヨウ素の国際市況が引き続き回復基調で推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、上記要因に加え、操業度の上昇等により営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は前年同期比8億3千2百万円（8.9%）増の101億7千8百万円、営業利益は前年同期比5億6千2百万円（55.1%）増の15億8千3百万円となりました。

## [金属化合物事業]

金属化合物事業では、主要製品である塩化ニッケルの販売数量が増加したこと等により売上高は前年同期を上回りました。この販売数量の増加は主に、前年に実施した設備増強が寄与したことによるものです。損益面では、販売数量の増加、操業度の上昇等により営業利益の計上となりました。

この結果、売上高は前年同期比9億1千万円（58.2%）増の24億7千4百万円、営業利益は2千2百万円（前年同期は営業損失3千3百万円）となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,184	2,203
受取手形及び売掛金	4,307	4,366
商品及び製品	2,037	2,008
仕掛品	299	363
原材料及び貯蔵品	915	987
短期貸付金	7,820	7,726
その他	72	117
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	17,634	17,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,479	3,640
機械装置及び運搬具(純額)	3,507	4,086
土地	1,747	1,796
建設仮勘定	1,294	924
その他(純額)	210	272
有形固定資産合計	10,240	10,720
無形固定資産		
その他	501	536
無形固定資産合計	501	536
投資その他の資産		
投資有価証券	617	93
繰延税金資産	549	548
その他	150	140
貸倒引当金	△0	△0
投資損失引当金	△537	—
投資その他の資産合計	779	782
固定資産合計	11,521	12,039
資産合計	29,156	29,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,400	1,528
短期借入金	600	600
未払金	926	924
未払法人税等	555	234
賞与引当金	123	256
役員賞与引当金	10	7
その他	251	260
流動負債合計	3,867	3,812
固定負債		
退職給付に係る負債	882	956
環境対策引当金	209	209
資産除去債務	216	218
その他	30	27
固定負債合計	1,339	1,413
負債合計	5,206	5,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	16,709	17,401
自己株式	△115	△117
株主資本合計	24,125	24,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△90	△146
退職給付に係る調整累計額	△85	△82
その他の包括利益累計額合計	△176	△229
純資産合計	23,949	24,585
負債純資産合計	29,156	29,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,909	12,652
売上原価	8,802	9,873
売上総利益	2,107	2,779
販売費及び一般管理費	1,119	1,172
営業利益	987	1,606
営業外収益		
受取利息	10	6
受取配当金	0	0
その他	1	1
営業外収益合計	13	8
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	1	0
為替差損	13	31
営業外費用合計	16	33
経常利益	984	1,582
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資損失引当金戻入額	—	14
特別利益合計	—	14
特別損失		
固定資産除却損	21	40
投資損失引当金繰入額	537	—
災害による損失	—	5
その他	—	1
特別損失合計	559	46
税金等調整前四半期純利益	425	1,550
法人税等	197	527
四半期純利益	228	1,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	228	1,022

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	228	1,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	0
為替換算調整勘定	5	△56
退職給付に係る調整額	△0	2
その他の包括利益合計	△0	△53
四半期包括利益	227	968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227	968
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

これに伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表については、当該変更に伴う表示の組替えを行っております。この結果、組替えを行う前と比べて前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他」が92百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が92百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ヨウ素及び天然ガス事業	金属化合物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,345	1,564	10,909	—	10,909
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	9,345	1,564	10,909	(—)	10,909
セグメント利益又は損失(△)	1,021	△33	987	—	987

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ヨウ素及び天然ガス事業	金属化合物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,178	2,474	12,652	—	12,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	10,178	2,474	12,652	(—)	12,652
セグメント利益	1,583	22	1,606	—	1,606

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。